

群馬県前橋市

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

道路照明灯の包括的維持管理手法の検討

道路照明灯は、リース事業によりLED化を実施しているが、リースアウト後の管理手法について、官民連携の導入により効率的な維持管理の体制を検討したい。

①解決したい課題

【解決したい課題】

- 道路照明灯は、約半数を2015年にリース事業によりLED化を実施しているが、2025年にリースアウトとなるため、今後の維持管理体制を検討したい。
- 一斉に不点灯とならないよう、計画的に更新を行いたい。
- 点灯状況のパトロールを含めた、日常的な維持管理については、リース事業により実施していたため、今後の実施手法について検討したい。
- 柱については、リース事業とは別に、定期点検を委託業務により実施しているため、契約等の事務量が多い。
- 柱の老朽化により、修繕工事や撤去工事が増加している。

【前橋市の概要】

人口：329,120人（R7.1.31現在） 面積：311.59km<sup>2</sup> 立地：群馬県中央部

【対象としたい公共施設等の規模】

道路照明灯：2574基 うちLEDリース対象：1394基

【現在の取組状況】

LEDリース事業：2015年から2025年の10年間（日常的な維持管理を含む）

柱の定期点検：毎年業務委託により実施

点灯状況パトロール：職員により実施（リース以外）

②課題解決の方向性等

【課題解決にあたっての締約や条件】

- 2025年にリースアウトとなることから、2025～2026年度に維持管理の方向性や体制を検討し、2027年度から導入したい。
- LED化を実施していない照明灯については、LED化することを必須としないが、事業範囲として含め、全道路照明灯を対象とする。

【解決の方向性・民間事業者のシーズ提案に期待する事項】

- 本市で管理する道路照明灯（照明灯具、柱、基礎）全てを対象とし、更新、修繕工事に加え、パトロール等の日常管理を対象とした、効率的な維持管理体制の提案。
- 例えば、不点灯率5%以下、LEDモジュールの点灯残存率50%以下が10%以下などの性能規定の導入。
- 柱、基礎など長寿命化修繕計画の立案。
- 住民通報システムの構築。
- 維持管理コストの平準化。
- 新技術を活用し効率化やコスト縮減を期待したい。



対象とする道路照明灯の例

③課題解決のイメージ・効果

- 道路照明灯の維持管理に係る職員の労力削減。
- 住民通報システムの構築や不点灯率の改善による住民サービスの向上。

その他

特になし